

「完全病理学各論 Element 版」の刊行によせて



本書は、前著「完全病理学各論」（全 12 卷、学際企画）の医学生向けの縮刷版である。

「完全病理学各論」（全 12 卷）は、難産の末、2007 年 4 月に学際企画より刊行された。これは、「画像詳解 完全病理学総論」（医学教育出版社、2005 年 5 月）と対をなす、今どき珍しい単著の教科書である。自慢の標本コレクターのひとりである著者が、可能な限り自力で集めた症例を中心に、30 年にわたる自らの病理学のすべてを集結した渾身の作品といえる。

提示した症例総数は 815（うちパネルは 32、element=重要症例は 218）、正常パネルは総数 20 である。PRINCIPAL 30 編、STEP UP 107 編、COLUMN 260 編がちりばめられている。common disease も rare disease も対等に取り扱う「症例提示」の形をとることを通じて、"症例に軽重の差はない"ことを信条として一貫した点も特徴といえる。

2008 年 11 月には、講義やディスカッション用に使いやすい CD-ROM 版が出版される。必要な画像・図表をダウンロードして、フォトショップなどで自在に加工することが可能である。

「完全病理学各論 Element 版」は、医学生向けに、重要疾患をピックアップして一冊にまとめたものである。正常パネルを第一部としてまとめ、第二部に症例 200 およびパネル 24 を配した。選択された症例（common disease ないし重要疾患）は、「完全病理学各論」（全 12 卷）に element と表示した症例の大部分に相当する。ページ数の制限から、とても残念なことに、PRINCIPAL、STEP UP ならびに COLUMN はすべて掲載できなかった。PRINCIPAL と COLUMN の一部は、気楽に読んでもらい、「なるほど！」とつぶやいてもらうことを主な目的としていたので、返すがえすも心残りである。この意味で、この Element 版が味のない"病理アトラス"になってしまったことを、まず謝りたい。

「完全病理学各論 Element 版」は、便利な副読本として利用してほしい。医学部低学年の病理学の学習のみならず、医学部 5~6 年生用の医師国家試験対策用アトラスとしてもお奨めである。パラメディカルの教育用に利用するのも有用と思われる。

病理画像が医師国家試験に出題される頻度は低くない。そのうえ、病理画像は複雑でわかりにくい。各病理画像にシェーマをつけ加えることで、画像における個々の要素の読み取りが容易となり、病理画像の面白さを引き出すように工夫されているのが本書の"売り"の 1 つといえる。本書に対する率直なご批判は遠慮なくいただきたい。

感想や意見を下記までメールしていただければ幸いである。

2008 年 10 月

#### 症例提供協力施設ならびに協力者

症例提供施設として、東海大学医学部付属病院（伊勢原）およびけいゆう病院（横浜）からの症例が最も多い。東海大学医学部附属東京病院（東京）、同大磯病院（大磯）、藤田保健衛生大学病院（豊明）、慶應義塾大学医学部付属病院（東京）などの症例も一部使用させていただいた。

以下に、症例提供協力者の名前をあげてさせていただき、深甚なる謝辞をささげたい。失礼ながら、敬称は省略させていただきます。

長村義之、上山義人、伊藤仁（東海大学医学部病理診断学）、宮地勇人（同臨床病理学）、遠藤正之（同腎臓内科）、小澤明（同皮膚科）、篠原治（同小児科）、栗原由佳（同八王子病院リハビリテーション科）、多田伸彦（同健康科学部病理）、杉山敏（藤田保健衛生大学医学部腎臓内科）、松永佳世子（同皮膚科）、平澤浩（藤田保健衛生大学病院病理部）、山本直樹（藤田保健衛生大学総合医科学研究所共同利用研究施設）、森一郎（和歌山医科大学病院病理）、茅野秀一（埼玉医科大学病理）、渋谷誠（東京医大八王子病院病理）、気賀沢一輝（杏林大学医学部眼科）、里悌子（けいゆう病院病理）、小野田登（大和市立病院病理）、加藤優子（海老名総合病院病理）、笠原正男（静岡赤十字病院病理）、大西山大（福友病院、日進）、郡美夫（千葉市立病院検査部）、永山憲市（Raffles Japanese Clinic、シンガポール）、下里幸雄（もと国立がんセンター病理）、秦順一（国立成育医療センター研究所）、小川恵弘（貴友会王子病院病理、東京）、沖坂重邦（眼病理教育研究所）、Nirush Lertprasertsuke（チェンマイ大学病理）

藤田保健衛生大学医学部第一病理学

堤 寛 Yutaka Tsutsumi, M.D.

e-mail: [tsutsumi@fujita-hu.ac.jp](mailto:tsutsumi@fujita-hu.ac.jp)